

◆高知県内の重要港湾における岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策の推進

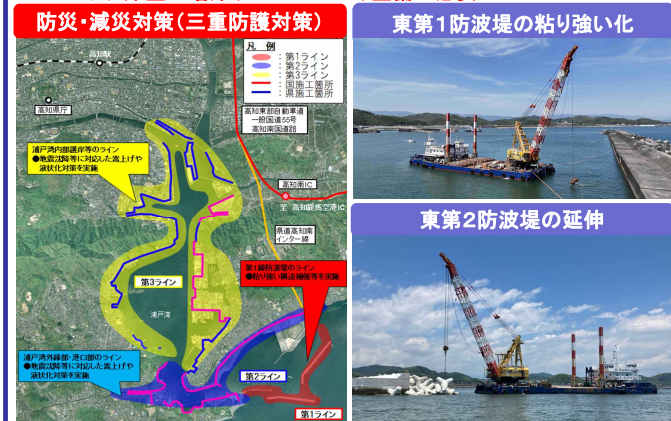
〔高知港 三里地区〕

〔須崎港〕

〔宿毛湾港 池島地区〕



- ◆静穏度不足により荷役障害やロープが切れる被害が発生
⇒**南防波堤の延伸の整備促進** (東第1防波堤 1,100m R1完成)
- ◆地震・津波対策
⇒**三重防護の第1ライン**を担う防波堤の粘り強い化・嵩上げの整備促進
- ◆コンテナ船の大型化に伴い岸壁水深が不足
⇒**コンテナ岸壁の増深(-8m → -10m) 整備が必要**



- ◆湾口西・東防波堤がH26.3竣工
- ◆静穏度が向上したことにより、企業の生産活動が活発化
- ◆津波に対する安全性が格段に向上
- ◆岸壁の耐震化(県事業)R7完成予定
- ⇒H26以降港湾取扱貨物量(フェリー除く)が四国1位
- ◆船舶の大型化に対応(輸送コストの削減・競争力強化)
- ◆多発する自然災害等に伴う災害廃棄物の受入・処分
⇒**大水深岸壁(-13m)の整備が必要**



- ◆池島第2防波堤がR2.8竣工
- ◆静穏度の確保により、利用船舶の安全性・利便性が向上
- ◆R6.12月に外国クルーズ船初寄港(バイキング・エデン)
⇒クルーズ船の受入体制の強化(駐車場整備)
- ◆防災拠点港としての機能強化
⇒**池島第1防波堤の粘り強い化・嵩上げの整備促進**



政策提言

- ◆防災・減災効果を発揮するとともに、既存岸壁等を最大限に活用するためには、**防波堤の整備や粘り強い化等の推進が必要**。
- ◆**南海トラフ地震の発生が逼迫していることから**、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」後も中長期的かつ明確な見通しの下、切れ目なく国土強靱化を推進できるよう、本年6月に策定予定の「国土強靱化実施中期計画」においては、現行対策を上回る事業規模としたうえで、**必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保**するとともに、能登半島地震の教訓を踏まえて、**着実な実施を図る**こと。